

2024年3月期 決算説明(事業報告)補足資料

2024年6月21日

 株式会社 昭和システムエンジニアリング

目次

+ transform 2 nd Stage 第58期 総括	2
+ transform 2 nd Stage 第59期 対処すべき課題	3
1. DXの推進	4, 5
2. 既存ビジネス領域の維持・拡大	6
3. 社内デジタル基盤の強化	7
4. 成長戦略としての人材確保と働き方改革	8

+ transform 2nd Stage 第58期 総括

No	第58期の課題	評価
1	DXの推進	
	・ DXビジネス本格参入	○
	・ DX人材育成	◎
2	既存ビジネス領域の維持・拡大	◎
3	社内デジタル基盤の強化	◎
4	成長戦略としての人材確保と働き方改革	◎

+ transform 2nd Stage 第59期 対処すべき課題

基本方針	重点施策	取り組み
DXの推進	<ul style="list-style-type: none">・ DXビジネス本格参入・ DX人材育成	<ul style="list-style-type: none">・ 継続・ 強化
既存ビジネス領域の維持・拡大	<ul style="list-style-type: none">・ モード1ビジネスの安定的成長	<ul style="list-style-type: none">・ 継続
社内デジタル基盤の強化	<ul style="list-style-type: none">・ 基幹システム刷新と デジタルイゼーションの 推進による社内変革	<ul style="list-style-type: none">・ 基幹システム刷新は完了・ デジタルイゼーション 推進は継続
成長戦略としての人材確保と 働き方改革	<ul style="list-style-type: none">・ 戦略的採用とシニアスキル転換・ 働き方改革の更なる促進	<ul style="list-style-type: none">・ 継続・ 継続

1. DXの推進 ①DXビジネスの推進

+transform 2nd Stage 第59期

選抜教育対象者が早期にDXプロジェクトへ参画できる体制を構築するとともに重点顧客プロジェクトのDX比率を高める。

実績

- DXに精通した技術者の増大
- DXプロジェクトの売上増加

今後の取組

- 選抜教育対象者のDXプロジェクト早期参画に向けて、厳しくPDCAを回すことを継続。
- 選抜メンバを中心とした体制を構築し、新規DXプロジェクトの獲得及び、既存DXプロジェクトの拡大を目指す。

1. DXの推進 ②DX人材育成

+transform 2nd Stage 第59期

選抜社員向けのプロフェッショナル育成とDXリテラシー教育を組み合わせ、DX人材の底上げを図る。

全社員教育

DXリテラシー教育

2023年度実績

<全社員>

- ・DX初学者向けe-learning
- ・生成AI勉強会

<一部社員>

- ・機械学習体験コース

2024年度取組み

- ・DX初学者向けe-learningの継続
- ・計2回の教育を計画

選抜育成

AI・データサイエンス

2023年度実績

- ・10名が各種研修を受講
- ・データサイエンスエンジニアリング
- ・ビジネスデザイン/マネジメント

2024年度取組み

- ・研修受講を継続とし、受講人数及び一部カリキュラムの見直し

クラウドエンジニア

2022年度・2023年度の実績(取得資格)

- ・Azure Fundamentals(初級)
- ・Azure Administrator(中級)
- ・Azure Developer(中級)
- ・AWS Solutions Architect(中級)

2024年度取組み

- ・初級資格取得者を中心に、中級/上級の資格取得を推進
- ・業務調整の緩和対策として外部研修の代替学習を検討

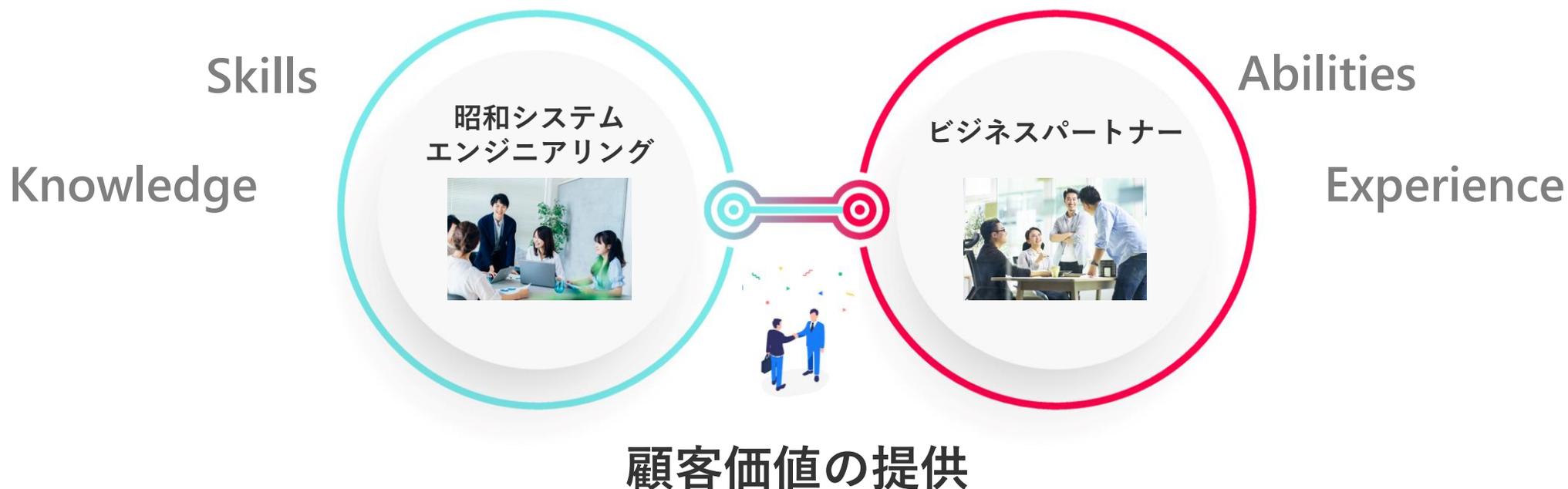
※Microsoft Azure は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※AWS は、Amazon.com,Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

2. 既存ビジネス領域の維持・拡大

+transform 2nd Stage 第59期

当社がこれまで培ってきたナレッジやスキル、そして経験を活かし、優良パートナーとともに高品質で安定性且つ信頼性に優れたサービスを提供し、既存ビジネスの安定的成長を目指す。



3. 社内デジタル基盤の強化

+transform 2nd Stage 第59期

社内のデジタルイゼーションを推進することで、災害などの外的要因に揺るがない強固なIT基盤を構築し、デジタル空間上の本社（Digital HQ）を実現することを目指す。

実績

- **基幹システム刷新** : Microsoft Azure上に基幹システム「SPIGA」を構築、2023年4月稼働開始
- **導入済ツール見直し** : DirectCloud全社展開、ジョブカンワークフローの利用拡大

今後の取組

- **ChatGPTサービスの検討** : 法人向けサービスの検討
- **社内情報基盤検討** : 2025年10月14日 Windows10/Office2019サポート終了に伴う検討
- **Slack活用定着** : より一層のSlack活用に向けた施策検討を継続
- **社内デジタルイゼーション推進** : 電子契約等新規ツール導入検討および導入済ツールの評価・見直しを継続

当社が持続的に発展するため、戦略的な採用活動を行い多様な人材を確保する。



戦略的採用による人材の確保

- バイモーダルITを実践する企業として積極的にPRし、戦略的な採用活動を進める
- オンラインとFace to Faceのアプローチを柔軟に切り替え、学生の満足度を高める
- 学生応募の拡大に向け、採用活動のデジタル化を検討し効率化を図る



働き方改革の更なる促進

- 現状に見合った働き方改革を推し進め、社員のwell-being、エンゲージメントの向上を目指し、重要課題に積極的に対応

“Knowledge Integrator”